



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月10日

上場会社名 そーせいグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4565

URL

<http://www.sosei.com/>

代表者（役職名） 代表執行役社長（兼取締役）CEO（氏名）田村 真一

問合せ先責任者（役職名） 執行役副社長

（氏名）虎見 英俊 TEL 03-5210-3290

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	834	16.1	△1,301	—	△1,365	—	△1,367	—
23年3月期第3四半期	718	△17.4	△1,168	—	△1,295	—	△1,205	—

（注）包括利益 24年3月期第3四半期 △1,314百万円（—％） 23年3月期第3四半期 △1,115百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	△11,558	30	—	—
23年3月期第3四半期	△10,225	64	—	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,683	7,404	92.6
23年3月期	8,991	8,656	93.7

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 7,115百万円 23年3月期 8,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	0	00	—	—
24年3月期	—	—	0	00	—	—
24年3月期（予想）					0	00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	876	22.2	△2,167	—	△2,167	—	△2,167	—	△18,311	95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	118,338株	23年3月期	118,338株
24年3月期3Q	一株	23年3月期	一株
24年3月期3Q	118,338株	23年3月期3Q	117,913株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は2月10日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3 四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、日本及び英国の子会社（日本：株式会社ソーせい、株式会社アクティブスファーマ、英国：Sosei R&D Ltd.）を中心にグローバルに医薬品の研究開発事業を展開しております。

主な収益源は、開発の進展に応じて導出・販売提携先より当社グループに支払われるマイルストーン収入並びに医薬品の販売による収入等であります。また主な費用として、研究開発費並びにのれんの償却費が発生しております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりであります。

① 売上高

当第3四半期連結累計期間は、834百万円の売上高を計上しました（前年同四半期は718百万円）。主な内容は、NVA237の欧州における承認申請に伴うマイルストーン収入、あすか製薬株式会社からのノルレボ[®]錠 0.75mgの国内販売開始に伴うマイルストーン収入及び同社への販売収入であります。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、あすか製薬株式会社へのノルレボ[®]錠 0.75mgの国内における売上を、当第3四半期連結累計期間より計上しているためであります。

② 売上総損益

当第3四半期連結累計期間は、607百万円の売上総利益となりました（前年同四半期は668百万円）。売上原価の主な内容は、ノルレボ[®]錠 0.75mgの国内販売に係る原価であります。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記売上原価を、当第3四半期連結累計期間より計上しているためであります。

③ 営業損益

当第3四半期連結累計期間は、1,301百万円の営業損失となりました（前年同四半期は営業損失1,168百万円）。販売費及び一般管理費の合計は1,908百万円となりました（前年同四半期は1,836百万円）。その内訳は、研究開発費153百万円（前年同四半期は197百万円）、のれん償却額1,191百万円（前年同四半期は同額）、その他の販売費及び一般管理費563百万円（前年同四半期は448百万円）となっております。営業損益の前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、上記②に記載の要因及び当第3四半期連結累計期間においては、前第2四半期連結会計期間末に連結子会社となった株式会社アクティブスファーマの販売費及び一般管理費を計上しているためであります。

④ 経常損益

当第3四半期連結累計期間は、1,365百万円の経常損失となりました（前年同四半期は経常損失1,295百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、為替差損の発生額の差によるものであります。

⑤ 四半期純損益

当第3四半期連結累計期間は、1,367百万円の四半期純損失となりました（前年同四半期は四半期純損失1,205百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、前年同四半期累計期間に計上した受取和解金等の特別利益が、当第3四半期連結累計期間では発生していないためであります。

⑥ セグメントの業績

セグメントの業績については、次のとおりであります。

a. 国内医薬事業

国内医薬事業におきましては、売上高は443百万円となりました（前年同四半期は54百万円）。主な内容は、あすか製薬株式会社からのノルレボ[®]錠 0.75mgの国内販売開始に伴うマイルストーン収入、国内における同社への販売収入であります。その結果、セグメント損失は65百万円となりました（前年同四半期はセグメント損失219百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、あすか製薬株式会社へのノルレボ[®]錠 0.75mgの国内における売上を、当第3四半期連結累計期間より計上しているためであります。

b. 海外医薬事業

海外医薬事業におきましては、売上高は390百万円となりました（前年同四半期は663百万円）。主な内容は、NVA237の欧州における承認申請に伴うマイルストーン収入であります。その結果、セグメント損失は857百万円となりました（前年同四半期はセグメント損失601百万円）。前年同四半期連結累計期間との差異の主な要因は、不定期に発生するマイルストーン収入の差によるものであります。なお、海外医薬事業における営業費用には、のれん償却額1,191百万円が含まれております。

⑦ 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における主な研究開発活動は、NVA237の欧州及び日本における承認申請、SO-1105の導入等について開発進捗を図ったことであります。なお、研究開発費は153百万円（前年同四半期197百万円）となりました。

各開発品等の進捗に関するセグメント別の詳細は以下のとおりであります。

a. 国内医薬事業

■SO-1105（適応：口腔カンジダ症）

開発段階：臨床試験準備中（平成23年12月31日現在）

平成23年5月に、SO-1105の日本における独占開発販売権を、バイオアライアンス社（BioAlliance Pharma、フランス）より取得いたしました。SO-1105は免疫機能の低下した患者等に発症する口腔カンジダ症を治療する口腔粘膜付着性の抗真菌剤です。口腔カンジダ症とは、真菌に属する主としてCandida albicans（カンジダ・アルビカンズ）の感染により引き起こされる口腔内の粘膜炎症性疾患であり、HIV感染等による免疫不全患者や糖尿病のような慢性的な疾病の患者に多く見られます。同剤は、バイオアライアンス社が開発し、平成18年10月にフランスで初めて承認を取得して以来、現在までに欧州の26カ国、米国や韓国において承認されております。現在は、国内における開発計画について平成24年3月期中の臨床試験開始に向けて独立行政法人医薬品医療機器総合機構と協議中であります。

■APNT（Activus Pure Nano-particle Technology）：ナノ粉碎化技術

当社グループは、創薬基盤技術の強化を図るため、平成22年8月に株式会社アクティバスファーマを買収し、同社のナノ粉碎化技術（以下「APNT」）を取得いたしました。APNTの特徴は、難溶性の医薬品原料を50-300nm（ナノメートル）レベルの結晶粒子径に粉碎しつつ、既存技術で問題となっている不純物の混入を極めて低く抑えることが可能という点にあります。この特徴により、これまで開発が困難であった難溶性薬物の注射、点眼、吸入製剤への応用を検討しております。具体的には、5月12日に、医薬品の製造販売に多くの実績とノウハウを持つ東亜薬品株式会社及び同社の子会社である日東メディック株式会社と、同社保有の複数の点眼剤等を対象にAPNTを用いた共同研究を進めることに合意し、基本契約を締結いたしました。今後、それぞれの製品の開発に合意した場合は、事業化に関する個別契約を締結いたします。

APNTを応用した効率的な眼疾患治療のための医薬品開発を目的とし、平成23年6月20日に岐阜薬科大学との共同研究契約を締結いたしました。現在は、新規後眼部疾患治療薬を開発しております。糖尿病性網膜症や加齢黄斑変性症等の後眼部疾患は、中途失明等視覚障害の主要な原因ですが、本プロジェクトではAPNTを活用した共同研究を基に、既存の治療方法とは異なり後眼部に特異的に薬物を送達しうる新規点眼剤を開発し、患者QOL（Quality of Life）の向上を目指します。

なお、本技術は、平成23年8月に、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「NEDO」の平成23年度イノベーション推進事業に係る助成事業に採択されました。

b. 海外医薬事業

■NVA237（適応：慢性閉塞性肺疾患（COPD））

開発段階：欧州、日本において承認申請中（平成23年12月31日現在）

当社グループが大手製薬会社であるノバルティス社（本社スイス）に導出しているNVA237につきましては、平成23年9月に公表のとおり欧州において承認申請中であります。日本においては、ノバルティスファーマ株式会社（以下「ノバルティスファーマ」）が平成23年11月に承認申請を行いました。そして、同社独自のCOPD治療薬「オンブレス[®]吸入用カプセル150μg」（一般名：インダカテロールマレイン酸塩、以下「オンブレス」）とNVA237、並びにオンブレスとNVA237の配合剤であるQVA149に関して、ノバルティスファーマはエーザイ株式会社と共同プロモーション契約を締結したと報じております。

なお、ノバルティス社はNVA237の最初の地域における上市を平成24年に予定していると発表しております。

■QVA149（適応：慢性閉塞性肺疾患（COPD））

開発段階：第Ⅲ相臨床試験中（平成23年12月31日現在）

NVA237と同社独自のオンブレスの固定用量配合剤であるQVA149につきましては、現在約5,500名のCOPD患者を対象に7本の第Ⅲ相臨床試験が実施されております。また、ノバルティス社は平成24年に最初の地域における承認申請を予定していると発表しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,308百万円減少し7,683百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少し1,521百万円となりました。主な減少要因は、ＳＯ－１１０５の販売に係るライセンスの対価として、バイオアライアンス社へ242百万円を支払った事によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ956百万円減少し6,161百万円となりました。主な減少要因は、前掲のＳＯ－１１０５に係るライセンス料242百万円を無形固定資産計上したこと及び、Sosei R&D Ltd. 買収に係るのれん償却額が1,191百万円発生したことによります。なお、当第3四半期連結会計期間末ののれんの残高は5,823百万円であります。

現金及び預金の合計額は、前連結会計年度末に比べ279百万円減少し1,471百万円となりました。当社グループの手許流動性は、当第3四半期連結会計期間末では、現金及び3ヶ月以内に現金化が可能な定期預金によるもので、コミットメントライン契約等はありません。なお、流動資産の総資産に占める比率は19.8%、現金及び預金の流動資産に占める比率は96.7%であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し278百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ1,251百万円減少し7,404百万円となりました。これは、主に四半期純損失計上によるものであります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント下降し92.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月14日に修正発表いたしました通り、売上高876億円、営業損失2,167百万円、経常損失2,167百万円、当期純損失2,167百万円と予測いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

第22期（当期）第1四半期決算短信で記載しましたとおり、前連結会計年度に表明されていた継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は、解消されております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,471	1,471,863
売掛金	50	1,933
商品及び製品	62,984	—
その他	59,146	48,004
流動資産合計	1,873,653	1,521,800
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	31,321	25,062
機械装置及び運搬具（純額）	15,622	13,465
工具、器具及び備品（純額）	5,949	6,778
有形固定資産合計	52,893	45,305
無形固定資産		
のれん	7,014,102	5,823,028
その他	12,836	255,999
無形固定資産合計	7,026,938	6,079,027
投資その他の資産		
その他	38,302	37,554
投資その他の資産合計	38,302	37,554
固定資産合計	7,118,134	6,161,887
資産合計	8,991,787	7,683,688
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,824	77,162
未払金	49,108	20,500
未払費用	201,102	154,741
その他	22,301	26,370
流動負債合計	335,336	278,773
負債合計	335,336	278,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,988,055	16,988,055
資本剰余金	18,908,795	18,908,795
利益剰余金	△28,627,728	△29,995,514
株主資本合計	7,269,121	5,901,335
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,160,186	1,213,817
その他の包括利益累計額合計	1,160,186	1,213,817
新株予約権	227,143	289,761
純資産合計	8,656,450	7,404,915
負債純資産合計	8,991,787	7,683,688

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	718,569	834,202
売上原価	50,063	226,958
売上総利益	668,505	607,244
販売費及び一般管理費	1,836,680	1,908,764
営業損失(△)	△1,168,174	△1,301,520
営業外収益		
受取利息	828	193
雑収入	864	86
営業外収益合計	1,692	279
営業外費用		
為替差損	128,971	64,212
営業外費用合計	128,971	64,212
経常損失(△)	△1,295,453	△1,365,453
特別利益		
新株予約権戻入益	12,034	—
負ののれん発生益	13,969	—
受取和解金	65,145	—
特別利益合計	91,148	—
特別損失		
固定資産除売却損	72	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,293	—
特別損失合計	1,366	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,205,670	△1,365,453
法人税、住民税及び事業税	65	2,332
法人税等合計	65	2,332
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,205,736	△1,367,785
四半期純損失(△)	△1,205,736	△1,367,785
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,205,736	△1,367,785
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	90,166	53,631
その他の包括利益合計	90,166	53,631
四半期包括利益	△1,115,569	△1,314,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,115,569	△1,314,153
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内医薬事業 (千円)	海外医薬事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	54,727	663,841	718,569
計	54,727	663,841	718,569
セグメント損失（△）	△219,902	△601,908	△821,810

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	△821,810
全社費用（注）	△379,130
その他調整額	32,765
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△1,168,174

（注）全社費用は、単独では収益を獲得しない持株会社にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産についての重要な減損損失の認識、又はのれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	国内医薬事業 (千円)	海外医薬事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	443,835	390,367	834,202
計	443,835	390,367	834,202
セグメント損失（△）	△65,725	△857,754	△923,479

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	△923,479
全社費用（注）	△402,759
その他調整額	24,718
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△1,301,520

（注）全社費用は、単独では収益を獲得しない持株会社にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産についての重要な減損損失の認識、又はのれんの金額に重要な影響を及ぼす事象はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。